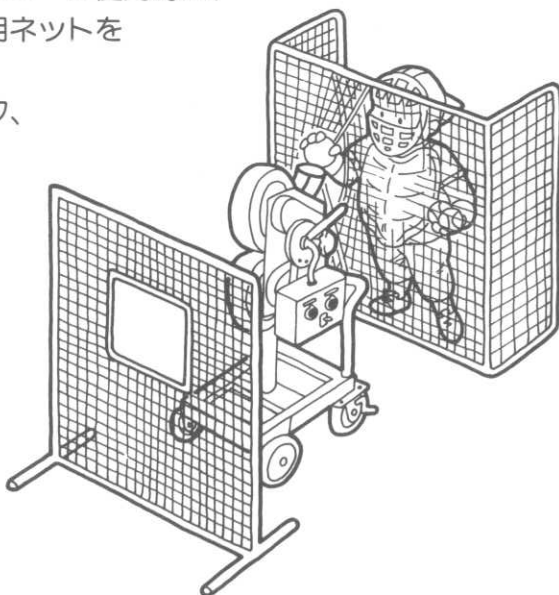


▲安全上守っていただきたいこと

- マシンの取扱は、この説明書をよく理解された方が実施してください。
- マシンの取扱は、マシンの危険性を理解できない子供には操作させないでください。
- マシン使用中は、マシンの周囲、及び使用範囲(ボールが届くと思われる範囲)には、関係者以外近づけないようにしてください。
- 人の安全とマシンの保護のため、マシン使用時は、必ずマシン前ネット、及び投球者用ネットを設置してください。
- オペレーターは、ヘルメット、マスク、プロテクターを着用してください。
- マシン調整時、キャッチャー、バッターは付けしないでください。万一頭部等に当たった場合、死に至る恐れがあります。



▲事故及びマシンの故障を防ぐために

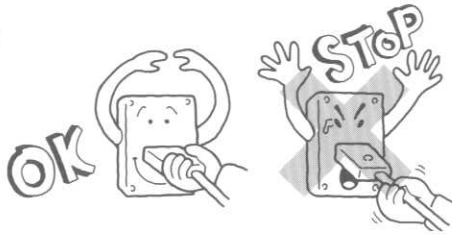
- マシンを操作する人は、常に周りに気を付け、マシンの前を横切る人がいないかどうか確認してください。
- ボールノック並びに投球時には大きな声で合図し、必ず安全確認をした後、投球してください。
- 回転している部分には、絶対にふれないでください。
- アースは必ず接続して使用してください。
- 雨天での使用はしないでください。漏電することがあります。
- 濡れたボールはスリップするため、コントロールが悪くなりますので、使用しないでください。
- コードリールは、全て引き出して使用してください。
- スイッチを入れるときは、ダイヤルが0になっているかどうかを確認の上で行ってください。
- マシン使用後は、必ずダイヤルを0に戻してから、スイッチを切ってください。

COMPACT KNOCK MACHINE

▲必ず守ってください

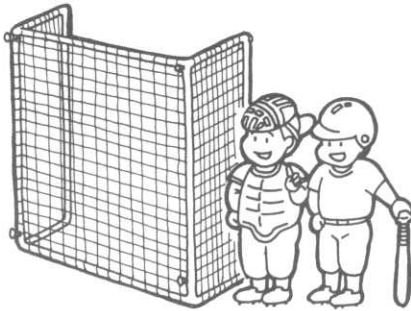
事故や器具の故障を防ぐために

1



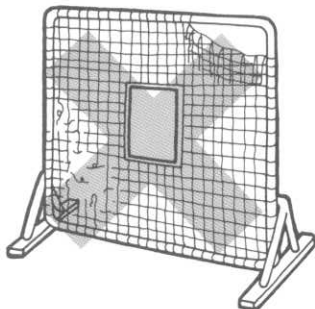
- 差込みプラグは、必ず根元を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線やショートの原因になり、大変危険です。

2



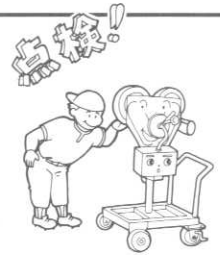
- マシンを使用した練習時には、オペレーターは安全のために、必ずヘルメット、マスク、プロテクター等の防具を着用してください。また、投球者用ネットも使用してください。複数の打席で、同時にバッティング練習をするときは、他打席の打球にも十分注意してください。

3



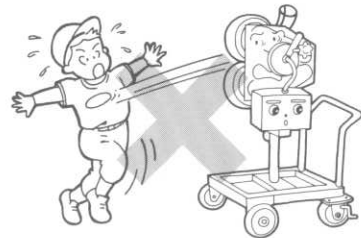
- マシンの前には、マシン前ネットを、マシンに接触しない間隔をあけて、設置してください。特に、古くなったネットや、ロープが切れてぶらさがっているネットは、修復して使用してください。ホイール(回転部)に巻き込む危険性があります。

4



- マシンの使用前に、リード線・シュート部・ホイール等に異常がないか点検してください。特に、ホイールは高速回転しますので、ハガレ・キズ・裂けめ等の有無やアルミ部にヒビ・ブレがないか点検してください。

5



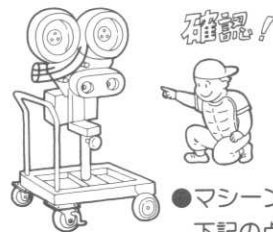
- マシンの運転中は、危険ですから絶対にマシンの前を横切らないようにしてください。

6



- ボールノック、並びに投球時には必ず声を出して合図をしてください。(イラストはネットを省略しています。)

7

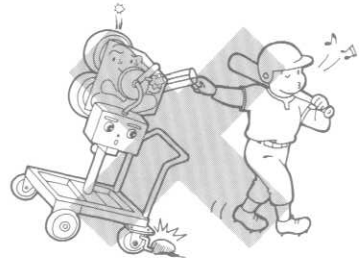


- マシンを移動する前に、下記の点について注意！マシンの固定ネジが全て締まっているか、確認の上移動してください。

▲必ず守ってください——— 事故や器具の故障を防ぐために

8

- マシーンの移動は慎重に行ってください。
このマシンは重心が高いため、転倒させたり、強い衝撃を与えたりしないように、注意してください。



マシンを移動するときは、手押しハンドル以外のところは持たないでください。特にシュートを引っ張らないでください。ボールをはさむ位置がずれ、コントロールが悪くなる他、破損・故障の原因にもなります。

9



- マシーンの仕様に合ったボールを、必ず使ってください。

10



- 雨の日は、絶対にマシンを使用しないでください。また、マシンは雨や水で濡らさないようにしてください。マシンの使用中に雨が降り始めましたら、直ちに雨のかからない場所に格納するか、雨や水がかからないような処置をしてください。

注) このマシンは防水機能を備えていませんので、電気系統に水が入ると漏電する恐れがあります。また、故障の原因になります。
万一、濡れた場合には完全に乾いてから使用してください。

- コードリールも同様に取り扱いってください。

11

- マシンは、屋内で、湿気やホコリの少ない場所に保管してください。
また、石灰と同じ場所に、保管しないでください。石灰は、空気中の水分を集めますので、湿気のため、商品の耐久性が落ちたり、ウレタンホイルの寿命を縮める原因になります。特に、石灰の付いたボールは、絶対に使用しないでください。

